

天保七（1836）年。著者・松濤軒斎藤長秋他。出版者・須原屋茂兵衛。

（湯島天満宮の項の内に「湯島神社」をたてて）

〔土人〕以下次行の「行ふ」まで割注）

湯島神社 ゆしまのじんしゃ とじん とがくしまやうじん しやう ほんしや うしろ なた 土人戸隠明神と称す本社すなはちの後の方かたにあり則

地主ぢしゆ しんの神かみなり例祭れいさいは毎歳まいさい九月十日をこなに行ふ

風土記曰豊島郡湯島神社雄畧天皇御宇二年癸巳

八月自官所祭天手力雄命也云

註 国立国会図書館デジタルコレクションの「江戸

名所図会7巻」松濤軒斎藤長秋 著〔他〕（須原屋

伊八〔ほか〕, 天保 5-7 [1834-1836] (DOI

10.11501/2559053) の18コマ目に画像（永続的

識別子 [info:ndljp/pid/2559053](http://info.ndljp/pid/2559053)）